

自然とつきあう技術

—民俗学からみた自然と人間—



イラク・ハムリン山地にて

文化の日

11/3 **金** 13:30~15:30

講師／篠原 徹氏

(滋賀県立琵琶湖博物館長)

【講師略歴】

京都大学理学部植物学科卒業、京都大学文学部史学科考古学専攻卒業。岡山理科大学助手・助教、国立歴史民俗博物館助教授・教授・副館長などを経て、2010年より現職。国立歴史民俗博物館名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授。博士(文学)(筑波大学)。専門は、民俗学。



【主な著書】

『自然と民俗—心意のなかの動植物—』日本エディタースクール出版部、1990年
『海と山の民俗自然誌』吉川弘文館、1995年
『アフリカでケチを考えた—エチオピア・コンソのらびと暮らし—』筑摩書房、1998年
『自然とつきあう』小峰書店、2002年
『自然を生きる技術—暮らしの民俗自然誌—』吉川弘文館、2005年
『自然を詠む—俳句と民俗自然誌—』飯塚書店、2010年
『酒薫旅情—琵琶湖が誘う酒と肴の俳諧民俗誌—』社会評論社、2014年

自然と人とのかかわりのなかで、私たちが忘れかけてしまっているものは何でしょうか。海で魚を釣る技術、山でミツバチを飼ったりキノコを採ったりする技術、鶺鴒の技術など、自然とつきあう巧みな技術を持った人びととの出会いを求めて、日本はもちろん、エチオピア、イラク、中国などを巡り歩いてきた民俗学者が、その答えにせまります。あわせて、「自然と人とのかかわり」をテーマに博物館は何ができるか、その可能性について探ります。

会場／北海道博物館 講堂

定員／80名(先着)

道民カレッジ連携講座／教養2単位、ジュニア1単位

お問い合わせ／北海道博物館

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2

<http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

申込方法／10月3日(火)よりお電話で受付します

行事受付専用ダイヤル／**011-898-0500**